

突然死を防ぐために
AEDの活用方法 羽鳥 裕

八月三日、足柄上三師会の講演会がありました。
羽鳥 裕先生
川崎市 はとりクリニック



内容は、スポーツにおける突然死をときどき聴くが、急死例の約七十%が心臓性といわれている。

この際には、人口呼吸、心臓マッサージなどの救命法以外にも、AED(自動除細動機)の使用が有効とされている。

心臓死の多いアメリカなどでは空港、運動施設、飛行機内などに配置され、一般市民による使用も行われている。

ニューヨークの空港では一年間に十一回使用されたという。



日本でもスポーツイベントなどで用意されるようになって来ました。



AED使用実習

このあと、インストラクターによりAEDの説明、使用法の実習があった。



対象者の胸に電極を二枚貼りつけ、器具のスイッチを入れると、器具が対象者の心電図を自動的にチェックし、除細動が必要かどうか判断し、その後の動作を指示する。救命しようとして

ている者はその指示に従い、必要な時はスイッチを押すだけ、その後も器具の指示に従いスイッチを何回か押すこともあるようだ。
一〜二回の講習でだれでも使えるようになりそうだ。



当院ではこれまで、これがあればということは起きていないので、さほど必要性は感じないが、アメリカでは空港や学校にも備えてあって、誰でも使うという状態になっているというのに、日本では医療機関にもないので、設置を検討している。



第二回ランタンフェスタ

八月二十一日、大雄橋辺の狩川河川敷で行われ、大変きれいでした。



院長

9月・10月の休診日

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜・第本曜

9月30日(木)午後
休診

E・メールを送って下さい。
norikazu@okutu.jp



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。
受け付けからのお願い
月初めには必ず保険証を受け付けにお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。
編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。